

《演習1》患者・看護師の関係構築

患者の全体像を考えてみよう

患者紹介；田口美和子さん 54歳 女性

50歳の時に夫が交通事故で他界したことを機にうつ病に罹患し、外来通院していました。今年の春に一人息子が結婚し、独立したことをきっかけに、うつ病が悪化し、市販薬を大量服薬し救急外来を経て精神科閉鎖病棟に入院しました。

2ヵ月が経過し、状態は回復期に入っており、現在は開放病棟へ移っています。

田口さんは今週末に、息子さんを自宅に呼んで、入院後、初めての外泊を行う予定です。

▶ 患者紹介 視聴後

患者の全体像（看護をする上で重要となるポイント）

他に必要な情報

-
-
-
-
-
-
-
-

▶ 患者紹介 不適切事例（学生の不適切な精神看護技術） 視聴後

学生の関わりの問題点を指摘してみましょう。

-
-
-
-
-

▶ 事例の振り返り（学生の不適切な精神看護技術の解説） 視聴後

あなたならどのようなコミュニケーションをとりますか？

-
-
-
-
-

事例に対してシミュレーション演習してみましょう。

 役割分担	1回目	2回目	3回目	事例のまとめ
リーダー役				/
看護学生役				
患者役				
観察者役	上記以外	上記以外	上記以外	

❗ 患者役のポイント

- ・ 最初は気だるそうな感じで返事もしないでください。学生役が親身に対応してくれていると感じたら、うなずきからコミュニケーションを始めてください。
- ・ 外泊に対する思い(息子に迷惑をかける)を学生に話すのを最初は躊躇してください。自分に対して真剣に対応していると感じたら、話してください。
- ・ 全体的にゆっくりとしたペースで話してください。学生役が喋りすぎてゆっくりとしたペースが確保できない場合は、黙ってしまって構いません。

✔ 評価のポイント

以下は標準的な評価ポイントになります。適宜、追加・修正してご活用ください。

患者と視線の高さを合わせることができた	○・×
患者の表情の観察ができた	○・×
患者と適切な距離を保ちながら関わることができた	○・×
患者の反応を待ってコミュニケーションをとることができた	○・×
沈黙を効果的に使用することができた	○・×
傾聴的な態度で関わることができた	○・×
共感的な態度で関わることができた	○・×
受容的な態度で関わることができた	○・×
	○・×
	○・×
	○・×

患者の全体像を考えてみよう

患者紹介；田口美和子さん 54歳 女性

50歳の時に夫が交通事故で他界したことを機にうつ病に罹患し、外来通院していました。今年の春に一人息子が結婚し、独立したことをきっかけに、うつ病が悪化し、市販薬を大量服薬し救急外来を経て精神科閉鎖病棟に入院しました。

経過は良好で、明日から、入院して初めての外泊をすることになっています。外泊が近づくにつれ、不安が強くなる時もあります。

実習生との関係は良好で、和やかに会話ができています。

▶ 患者紹介 視聴後

患者の全体像（看護をする上で重要となるポイント）

他に必要な情報

-
-
-
-
-
-
-
-

▶ 患者紹介 不適切事例（学生の不適切な精神看護技術） 視聴後

学生の関わりの問題点を指摘してみましょう。

-
-
-
-
-

▶ 事例の振り返り（学生の不適切な精神看護技術の解説） 視聴後

あなたならどのようなコミュニケーションをとりますか？

-
-
-
-
-

事例に対してシミュレーション演習してみましょう。

 役割分担	1回目	2回目	3回目	事例のまとめ
リーダー役				/
看護学生役				
患者役				
観察者役	上記以外	上記以外	上記以外	

❗ 患者役のポイント

- ・ 学生に話すかどうか悩んでください。
- ・ 必要以上に身体症状を訴えてください。
- ・ 大切なものを学生にあげてください。
- ・ 死にたい気持ちを他の人に言わないでと学生にお願いしてください。
- ・ 学生からの要望にはためらわないで応じてください。
- ・ 最初は状況に合わない感謝をしてください。
- ・ 自責的・罪業的な訴えをしてください。
- ・ 死にたい気持ちを伝えてください。

✔ 評価のポイント

以下は標準的な評価ポイントになります。適宜、追加・修正してご活用ください。

患者と視線の高さを合わせることができた	○・×
患者の表情の観察ができた	○・×
患者と適切な距離を保ちながら関わることができた	○・×
患者の反応を待ってコミュニケーションをとることができた	○・×
沈黙を効果的に使用することができた	○・×
適切な態度(共感的・受容的)で関わることができた	○・×
Tell (TALKの原則)ができた	○・×
Ask (TALKの原則)ができた	○・×
Listen (TALKの原則)ができた	○・×
Keep Safe (TALKの原則)ができた	○・×
	○・×
	○・×
	○・×